

一般質問通告書

【第75回定例会】

多可町議会議長 清水 俊博 様
 多可町議会議員 藤本 英三



受 領 日	番号
平成 29 年 3 月 2 日 (前)・午後 8 時 30 分	6

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. どうする遊休地と遊休施設	町長
合併一年後の、平成18年にアスパル南にあったS生コン社の跡地を多可町は約1億円で購入されています。平成23年には旧加美町の保育所・幼稚園を統合して、建設費約4億5千万円を投入して「かみキッズランド」がスタートしました。また建設費約10億円で平成25年には旧3町の学校給食センターを統合して「多可町学校給食センター」が建設されました。これらの土地や空き施設が有効利用されておられません。その他にも遊休地・遊休施設がありますが、今後どのように考えておられますか。	
2. 集落要望のルール作りを	町長
毎年9月に各集落から、区長さんを通じて翌年度予算に組み込んで頂く、要望事項を役場へ提出されておりますが、集落によってまちまちなので、きっちとしたルールが必要ではないでしょうか。例えば要望事項は何個か、町からの補助金額をいくりにするか、補助対象集落をどう決定するかなどのルールを決めていた方がいいのではないかと。	
3. 全防犯灯のLEDの実現化を図れ	町長
以前多可町内でも街路灯のブルー色から、LED灯に取り換えたことがあったと思いますが、一時期町内でも不審者を見かけたと言われておりましたが、そんな時防犯灯が切れておれば不安を感じます。電球が切れたのを見つけた人・区長さん・取り換える業者さん等の連絡の行き違いで、電灯が切れている防犯灯が良く見かけます。LEDは普通の蛍光灯より約5倍長持ちすると言われておりますので、多可町でも防犯灯をLEDに実現化に向けて。検討する必要があると思うが町長のご所見をお尋ねいたします。	

質 問 の 内 容

①遊休地・遊休施設

多可町合併直後の平成18年にアスパルの南にありましたS社の跡地を、約1億円で町が購入されております。

当時は先行投資のつもりだったかも知れませんが、10年も過ぎて何の計画もなしで、放置したままになっております。購入した理由を住民の皆さんにどのように説明をされるのですか。それとも最近の集中豪雨で浸水地域のために、何もされずに放置しているのですか。予定がなければ処分をも考えたらどうでしょうか。今後あの土地の利用方法を町長はどの様に考えておられますか。

また、平成23年4月から旧加美町の保育所・幼稚園を統合して、旧みなみ幼稚園跡に約4千500万円を掛け「かみキッズランド」が建設されました。旧みなみ保育所は5年程空き施設となっておりましたが、1年間ほど某企業に貸しておりますが、間もなく撤退されると聞いておりますが、その後はまた空き施設となりますが、何か有効利用を考えておられますか。

次に平成25年から旧3町の学校給食センターも統合して約10億円で「多可町学校給食センター」としてスタートいたしましたが、未だに旧中町給食センターは中町中学校給食の配膳準備室に利用されて聞いております。余りにも広すぎるので、もっといい利用方法はないのでしょうか。旧八千代給食センターは地元の方にも利用もなく、公募で利用者を募集しましたが、現在はそのままになって施設も荒廃しています。

その他に貸別荘の「グラインガルデン岩座神」や分譲地の「ハイランドかみの郷」にしても100%の利用者や購入者がいない状態です。いま、どこの市町でも民家の空き家を利用して移住・定住政策に力を注がれておりますが、行政自らが行った事業を完済するのが先決ではないのでしょうか。

そして多可町は新庁舎建設で仮庁舎分庁方式で住民サービスを行っておりますが、平成31年には庁舎が完成し、仮本庁舎の旧八千代北小学校・教育委員会が使用している旧中町幼稚園・そしてその北側にある上下水道課や建設課が使用している建屋も空き施設になる訳ですが、新庁舎が完成してから考えるのではなく、早めから先の計画を立ておかねばなりません。町長はこれらのお考えはどうでしょうか。

②集落要望

毎年9月に各集落から区長さんを通じて、翌年度の集落での要望事項を地域振興が窓口になって受付をしています。

多可町には62集落があり、集落によって考え方や規模もまちまちです。多数の要望項目を提出される集落もあるし、数件しかない所もあるようです。また要望書を提出しても取り上げてくれないので、始めから提出しない集落もあると聞いております。

この事業を精査・検討をされるのには非常に苦慮されていることと思われま

す。
集落によって部落負担の2割が重荷になる事業もあるので、町からの補助金額を決めるとか、対象集落をどう決定するか、見直をする必要があるのではないかと、(例えば順番制にするとか)でないと、部落の新年度予算を組むのに区長さんは「今年はこの事業を採択されるのか否か」かなり心配されておられます。

非常に難しい課題でしょうが、集落要望の全体を見直し、公平性を保つためにルール作りをする必要があるのではないのでしょうか。

③LEDの防犯灯

防犯灯も場所によって管理者が違ふと思いますが、せめて町とか集落が管理している防犯灯をLED化にしてはどうでしょうか。

電球が切れていて見つけた人や、区長さん・取り換える業者さんらの、連絡の行き違いあり、いつまでも暗いのは困ります。最近は何にしませんが、いっとき「不審者の人を見かけた」と防災無線で通告が流れました。大人でも明かりがなければ、暗闇での単独行動は心細いものです。今の蛍光灯では連絡する人・受ける人・取り換える人は、いつも気をつけておかねばなりませんので、大変面倒なことです。

そこで全町の全防犯灯をLED化に変更すれば、取り換える当初は経費が要りますが、蛍光灯よりも明るいし、消費電力も少なく5倍長持ちするので、経済的や面倒な面も省かれると思います。

いまは、自前で工事を施工することが出来るし、またリースでLED化にも出来ますので、検討する必要があると思います。すでに隣の西脇市は3年計画で平成29年度を以ってオールLED化になります。また加東市は平成25年度で事業完了されております。安全で安心して暮らせるまちづくりのためにぜひ施行すべきと思いますが、町長のご所見はいかがですか。